

和地ひとみレポート No.50

平成24年東大和市議会第2回定例会
一般質問『東大和市の学校教育について』②

『教育なら東大和市』という市ならではの教育の実現を！！



■新体制になった教育委員会

…6月5日から開催されているH24年東大和市議会第2回定例会において、和地ひとみは『東大和市の学校教育について』と題して、以下の点についての現状と課題、今後の取り組みについて質問をしました。

『基礎学力について』(前号No.49にて報告)
『小・中一貫教育について』『学校の統廃合について』
『本市ならではの教育の取り組みについて』
『新教育長のもとでの教育委員会の上記以外の取り組みについて』

…東大和市では、4月に新教育長として真如氏を迎え、新たな体制の教育委員会が誕生。課題のある東大和市の教育について、どのような考えのもと取りまされるのか、まずは、教育委員会の認識と考えについて確認したく、また、教育の向上が市の活性化にもつながることから、今回、和地ひとみはこの質問を行いました。

■東大和市は小・中連携教育では先進的

…現在は、義務教育期間を9年間と捉え、小中で連携して教育指導を行うことが文科省からも推奨されています。小中を一つと捉え教育活動を行うことには学びの連続性という効果のほか、中学校に入学した際に様々な問題が発生する『中一ギャップ』の改善にも有効だと言われています。武蔵村山市では隣接する小・中の校舎を連結し『小中一貫校』を作るなどの動きもありますが物理的、財政的問題から全国的に連携カリキュラムを作成するという動きが進行中。本市では一昨年、カリキュラムを完成、昨年度より連携カリキュラムを導入。全国的にみても既に完成している自治体が約3%という中、その点では本市は先進的です。そこで、その効果や今後の取り組みについて確認しました。

…本市ではH20年度より教育委員会の重点課題として連携教育を推進してきており、カリキュラムができたことで、互いに授業を参観するなどの小・中の教員の交流や情報交換が進んでおり、また、カリキュラムを作成したことで中学の教員が小学校での学習内容を系統的に一目瞭然で確認できるようになったとのことでした。

…また、不登校についてはH19年度をピークに毎年改善され、都の出現率より30%減という効果がでていくとのこと。今後は生活指導面においても小・中連携で指導をすすめていくとの答弁がありました。

…モデル校として小・中一貫校を実現させる考えの有無については、はっきりと無いとの答弁。東大和市は全市

的に中学校区のそれぞれの文化を尊重し、小中連携教育を進めていくとのことでした。

■学校の統廃合については調査検討中

…現在、国で進めている35人学級、教育法施行規則が定める適正な学校規模18学級(小中ともに)と照らした際、本市の学校規模には大きなバラつきが発生しています。学校の統廃合や学区変更は、地域、卒業生の理解、財政面などで困難な課題ですが、より最適な教育環境の実現のため、教育的見地からみた教育委員会の方向性を確認しました。

…その答弁は「現在、本市では『学校規模のあり方検討委員会』で今後の児童生徒数を推計し調査検討をすすめている状況。教育委員会では学校は地域の核であると考え、地域の理解を得られるように時間をかけて進めていかなければならないと考えている」とのことでした。

■東大和市ならではの教育の実現を

…真如教育長は就任直前まで港区の小中学校長を務められていました。港区は学校選択制をとっており、保護者間では各校の情報、評判が行きかっています。そんな中、真如教育長は校長時、毎年、児童数を増加させ3年間で10%増、歴代最多児童数まで学校の評判を押し上げました。その実体験から東大和市でも取り入れられる施策などがないか、また、本市ならではの教育の確立について確認。学校経営は校長のもとで行われていますが、校長は一定期間で異動があるため、長期的に継続して施策を進めることは困難。そこで、『市ならではの』という土台の厚みが必要だと考えて質問しました。

…教育長は『異動しない人＝地域の人を中心に考え、連携、協働すること』を挙げられ、基本はギブ&テイクだと発言。「学校は地域から力が借りられると思っているがそれは間違い。学校からも地域に返していかなければならない。地域を元気にして、学校と地域がお互い様でやっていかないと上手くいかない」と述べられました。

■教育の向上が市を活気づける

…教育は時間がかかりますが長期的に見ると、『教育を受けるなら東大和市』という評判が高まることで、子育て世代の世帯数が増加、高齢化が進む市民の年齢構成のバランスも良くなり、市が活性化すると和地ひとみは考えます。教育は市民サービスの中でも重要なもの。個性を伸ばし、実社会で自身の役割を自覚し、たくましく生きていける人間の育成を実現化させる教育を目指してほしいと最後に提言しました。